

令和2年度
通常総会資料

令和2年6月15日

公益社団法人 日本食品衛生学会

公益社団法人 日本食品衛生学会
令和2年度通常総会次第

日時 令和2年6月15日(月) 15:00~15:30

場所 中央区立日本橋公会堂

公益社団法人日本食品衛生学会令和2年度通常総会

1. 開会の辞

2. 会長挨拶

3. 議事

第1号議案

令和元年度事業報告案……………資料1 庶務理事

第2号議案

令和元年度決算報告案……………資料2 会計理事

監査報告……………資料3 監事

その他(報告)

令和2年度事業計画……………資料4 庶務理事

令和2年度予算……………資料5 会計理事

4. 閉会の辞

令和元年度事業報告書（案）

〔1〕学術講演会・研究会および講習会等の開催事業（公益目的事業 1）

1. 学術講演会の開催

- ・第 115 回日本食品衛生学会学術講演会を下記のとおり行った。

開催日 令和元年 10 月 3 日、4 日

場 所 タワーホール船堀（東京都江戸川区）

一般発表 口頭発表 34 題

ポスター発表 85 題

受賞者講演 2 題

特別講演 1 題

平成時代の食品衛生史と今後の展望

一色賢司（（一財）日本食品分析センター）

教育講演 4 題

I 「食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針」について

磯崎正季子（内閣府食品安全委員会事務局）

II 健康食品の問題点を振り返る～これからの健康食品のあり方とは～

千葉 剛（（国研）医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所）

III ネット情報時代の到来とエビデンス～カビ毒と流産の謎に迫る～

鈴木信孝（金沢大学大学院）

IV ジビエブームを微生物学的見地から考える

森田幸雄（東京家政大学）

論文作成に関するセミナー 2 題

参加者数 約 590 名

2. 特別シンポジウムの開催

- 2-1 第 22 回特別シンポジウムを下記のとおり行った。

開催日 令和 2 年 2 月 13 日（木）

場 所 牛込笹笥区民ホール

テーマ：食品衛生の新時代 ～国際化に向けて

1. 改正食品衛生法に基づく HACCP に沿った衛生管理の施行に向けて

福島和子（厚生労働省）

2. 器具・容器包装におけるポジティブリスト制度の最新情報

六鹿元雄（国立医薬品食品衛生研究所）

3. ゲノム編集食品とその安全性確保

近藤一成（国立医薬品食品衛生研究所）

4. ISO/IEC17025:2017 のコンセプトを考える

森 曜子 (公益社団法人 日本食品衛生協会)

参加者数 92 名

2-2 ブロックイベント

・中国・四国ブロック (公開セミナー)

共同主催 厚生労働省、公益社団法人日本食品衛生学会

後援 広島県

開催日 令和元年 11 月 20 日

場 所 広島県健康福祉センター 8 F 研修室

講演内容 食品に関するリスクコミュニケーション「知ろう～残留農薬～」

1. 残留農薬について知ろう

穂山 浩 (国立医薬品食品衛生研究所)

2. 農薬の登録と基準について知ろう

小林秀誉 (農林水産省)

3. 食品中の微生物の安全性と基準について知ろう

中野宏幸 (広島大学大学院)

参加者数 47 名

・北海道・東北ブロック (セミナー)

主催 日本食品衛生学会

後援 宮城県、日本食品化学学会、日本マイコトキシン学会

協賛 オフフレーバー研究会、企業協賛：9 社

開催日 令和元年 11 月 29 日

場 所 宮城野区中央市民センター

講演内容 「食品分析における精度管理および異臭分析」

1. 認証標準物質と精度管理

海老原卓也 (Restek 日本支社)

2. LC-MS/MS における精度管理

会田祐司 (株式会社エービー・サイエックス)

3. 分析の品質管理 ～機器分析における内部精度管理の実際～

中村 歩 (一般財団法人 日本食品分析センター)

4. 日本生協連における異臭検査と対応事例について

高谷智之 (日本生活協同組合連合会)

参加者数 50 名 (講師、企業参加者含む)

参加費 無料

・北海道・東北ブロック (公開セミナー)

共同主催 厚生労働省、公益社団法人日本食品衛生学会

後援 秋田県、秋田市

開催日 令和2年2月5日
場 所 秋田拠点センター アルヴェ 2階 多目的ホール
講演内容 食品に関するリスクコミュニケーション「知ろう～残留農薬～」

1. 残留農薬についてともに学ぼう

穂山 浩 (国立医薬品食品衛生研究所)

2. 農薬の登録と基準について知ろう

小林秀誉 (農林水産省)

3. 食品中の基準と安全性について知ろう

三浦友聡 (厚生労働省)

4. 食品衛生に係る微生物リスク

寺嶋 淳 (岩手大学)

参加者数 65名 (講師、企業参加者含む)

参加費 無料

・近畿ブロック (近畿地区勉強会) (延期)

開催日 令和2年2月28日

場 所 (地独)大阪健康安全基盤研究所森ノ宮センター

・北海道・東北ブロック (セミナー) (中止)

後援: 岩手県、日本食品微生物学会

開催日 令和2年3月3日

場 所 岩手県民情報交流センター

・東海・北陸ブロック (公開講演会) (延期)

開催日 令和2年3月10日

場 所 岐阜大学サテライトキャンパス

3. 公開講演会

・平成元年度公開シンポジウムを行った。

開催日 令和元年5月28日

場 所 中央区立日本橋公会堂 (東京都中央区)

テーマ 食品安全へのアプローチ～リスクコミュニケーションとサンプリング

1. 食品安全とリスク・コミュニケーション

吉川 肇子 (慶應義塾大学)

2. 食品の微生物検査におけるサンプリングプランと信頼性確保

五十君 静信 (東京農業大学)

参加者 100名

4. 関連学 (協) 会との連携および協力

- ・主催 日本食品衛生学会・日本食品微生物学会・日本食品化学学会
- 共催 日本食品衛生協会、食品化学新聞社
- 協賛 日本食品添加物協会、日本食品科学工学会、日本防菌防黴学会、日本調理科学会

「ifia JAPAN2019 食の安全・科学フォーラム 第18回セミナー&国際シンポジウム」

を下記のとおり行った。

開催日 令和元年5月22日
 場 所 東京ビッグサイト
 内 容 食品安全規格の国際整合性と野菜の整合性管理
 第一部 食品の安全管理の国際動向
 第二部 野菜の衛生管理

参加者 130名

- ・関連学会等への共催・協賛・後援

当学会は、関連学会等の団体に下記のとおり共催・協賛・後援を行った。

共催 なし

協賛 第28回日本包装学会年次大会(令和元.7.11-12)、第83回熱測定講習会(令和元.8.20-21)、フォーラム2019:衛生薬学・環境トキシコロジー(令和元.8.31-9.1)、第26回日本免疫毒性学会学術年会(令和元.9.9-10)、標準化と品質管理全国大会2019(令和元.10.9)、第55回熱測定討論会(令和元.10.24-26)、第17回食品安全フォーラム(令和元.11.29)、新アミノ酸分析研究会第9回学術講演会(令和元.12.16)、熱測定スプリングスクール2020(第84回熱測定講習会)(令和2.3.12-3.13)

後援 日仏セミナー「これからの微生物学」(令和元.11.13)

〔2〕学会誌等の発行(公益目的事業2)

- ・学会誌等を下記のとおり発行した。

食品衛生学雑誌(6冊)	第60巻2号~6号	発行部数	2,050部
	第61巻1号	発行部数	2,100部
食品・食品添加物等規格基準(抄)		発行部数	800部
第115回学術講演会要旨集		発行部数	1,000部

〔3〕研究業績に対する表彰事業(公益目的事業3)

- ・令和元年度日本食品衛生学会賞等授賞式を第115回学術講演会において下記のとおり行った。

「学会賞受賞者」 該当者なし

「学術貢献賞受賞者」

根本 了 (国立医薬品食品衛生研究所) 「食品中の有害化学物質および残留農薬の分析法開発とその応用に関する研究」

「奨励賞受賞者」

中島 崇行 (東京都健康安全研究センター) 「畜水産食品およびはちみつ中の動物用医薬品の高感度分析法の開発」

- ・食品衛生学雑誌第 59 巻論文賞授賞式を第 115 回学術講演会において下記のとおり行った。
「定量 NMR に基づく相対モル感度を利用した加工食品中のヘスペリジンおよびモノグルコシルヘスペリジンの定量 <報文>」第 59 巻第 1 号 p. 1~10 西崎雄三¹ 佐藤(増本)直子¹ 中西章仁² 橋爪雄志² タンジャ マハマドゥ² 山崎太一³ 黒江美穂³ 沼田雅彦³ 井原俊英³ 杉本直樹¹ 佐藤恭子¹ ¹国立医薬品食品衛生研究所 ²東洋精糖株式会社 ³産業技術総合研究所 計量標準総合センター

「カンパチの生食に伴う有症苦情事例残品中の *Unicapsula seriolae* 寄生量の定量的解析の検討 <報文>」第 59 巻第 1 号 p. 24~29 大西貴弘¹ 小原徹也² 新井沙倉¹ 吉成知也¹ 小西良子² ¹国立医薬品食品衛生研究所 ²麻布大学

「「健康食品」の安全性・有効性情報の収載データ分析から示される健康食品と医薬品の併用における注目すべき有害事象 <報文>」第 59 巻第 2 号 p. 80~88 小島彩子¹ 佐藤陽子¹ 千葉 剛¹ 梅垣敬三^{1,2} ¹国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 ²昭和女子大学 食安全マネジメント学科

〔4〕若手研究者育成事業（公益目的事業 4）

- ・令和元年度厚生労働科学研究（食品の安全確保推進研究事業）の補助事業者として若手研究者（リサーチレジデント）1 名を継続採用した。

〔5〕その他

- ・会員の限定事業について今年度は事業について検討した。事業は、来年度より開始する。
 1. 会員限定「学術小集会：FHS コミュニティ」
 2. 会員限定のメルマガを配信する。
 3. 論文作成に関する相談会を開催する。

〔6〕総会・理事会の開催

- ・令和元年度総会を下記のとおり行った。

開催日 令和元年 5 月 28 日

場 所 日本橋公会堂（東京都中央区）

議 案 平成 30 年度事業報告および同決算報告

定款の変更

役員の報酬等並びに費用に関する規定の変更

令和元～2年度役員を選出

- ・令和元年度理事会を下記のとおり行った。

第1回理事会

開催日 令和元年4月19日

場 所 建築家会館 会議室

報告事項 業務執行状況

議 案 入会者の承認

退会扱い者の承認

平成30年度事業報告案及び決算報告案、監査報告

令和元年度収支予算書修正承認

定款変更について

令和元～2年度役員候補者について

会員の相互扶助事業について

令和元年度通常招集通知の承認

厚生労働省食品の安全確保推進研究推進事業に係る取扱規程

学術講演会会計処理規則の変更

メルマガ編集委員会の設置および細則の変更

FHSセミナーに関する申し合わせ

内閣府への事業報告等に係る提出書類

第2回理事会

開催日 令和元年5月28日

場 所 中央区立日本橋公会堂

議 案 会長（代表理事）の選出

副会長の選出

令和元～2年度学会活性化委員会委員の選出

令和元～2年度編集委員会委員の選出

令和元～2年度情報委員会委員の選出

令和2年度学会賞等選考委員会委員の選出

第3回（書面）理事会

開催日 令和元年6月24日

場 所 日本食品衛生学会 事務局

議 案 入会者の承認

令和元～2年度常任理事の選出

令和元～2年度組織・運営委員会委員の選出

令和3～4年度役員等選考委員会委員の選出
令和元～2年度常任理事の選出

第4回（書面）理事会

開催日 令和元年8月20日
場 所 日本食品衛生学会 事務局
議 案 入会者の承認
厚生労働省リスクコミュニケーションの実施

第5回理事会

開催日 令和元年11月13日
場 所 建築家会館 会議室
報告事項 業務執行理事の活動報告
議 案 入会者の承認
創立60周年記念事業について
第118回学術講演会開催ブロックについて

第6回（書面）理事会

開催日 令和2年3月10日
場 所 日本食品衛生学会 事務局
報告事項 業務執行理事の活動報告
議 案 入会者の承認
令和2年度学会賞等受賞者
第60巻食品衛生学雑誌論文賞
名誉会員、特別会員の推薦
令和2年度事業計画、予算書
謝金規程の改訂
情報委員会委員の交代

事業報告の附属明細書

令和元年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規則する附属明細書「事業報告に内容を補足する重要な事項」は存在しない。

貸借対照表(案)

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	40,037,200	33,515,575	6,521,625
現金	334,319	125,193	209,126
普通預金	28,114,828	21,399,654	6,715,174
郵便振替貯金	1,588,053	1,990,728	△ 402,675
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
未収金	1,731,571	1,520,800	210,771
前払金	68,808	644,664	△ 575,856
流動資産合計	41,837,579	35,681,039	6,156,540
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金(基本金)	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	11,431,906	14,500,306	△ 3,068,400
周年事業積立資産	2,900,000	2,900,000	0
特定資産合計	14,331,906	17,400,306	△ 3,068,400
(3)その他固定資産			
電話加入権	4,200	4,200	0
保証金	667,000	667,000	0
その他固定資産合計	671,200	671,200	0
固定資産合計	25,003,106	28,071,506	△ 3,068,400
資産合計	66,840,685	63,752,545	3,088,140
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	252,498	538,611	△ 286,113
前受金	18,028,800	18,935,400	△ 906,600
預り金	1,988,061	1,310,244	677,817
仮受金	0	540	△ 540
流動負債合計	20,269,359	20,784,795	△ 515,436
2. 固定負債			
退職給付引当金	11,431,906	14,500,306	△ 3,068,400
周年事業積立金	2,900,000	2,900,000	0
固定負債合計	14,331,906	17,400,306	△ 3,068,400
負債合計	34,601,265	38,185,101	△ 3,583,836
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	0
2. 一般正味財産	32,239,420	25,567,444	6,671,976
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
正味財産合計	32,239,420	25,567,444	6,671,976
負債及び正味財産合計	66,840,685	63,752,545	3,088,140

正味財産増減計算書(案)
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
1 基本財産運用益	1,000	1,000	0
基本財産受取利息	1,000	1,000	0
2 受取会費	31,290,000	31,582,700	△ 292,700
正会員会費収入	11,400,000	11,371,700	28,300
学生会員会費収入	72,000	123,000	△ 51,000
購読会員会費収入	9,288,000	9,504,000	△ 216,000
賛助会員会費収入	10,530,000	10,584,000	△ 54,000
3 事業収益	16,781,612	20,829,764	△ 4,048,152
講演会参加費	7,152,738	10,216,000	△ 3,063,262
広告料金	2,074,000	2,770,800	△ 696,800
会誌売上金	777,100	1,048,900	△ 271,800
別刷料金	1,341,896	1,201,760	140,136
助成金収入	850,000	800,000	50,000
厚労省科学研究補助金	3,704,000	4,792,304	△ 1,088,304
厚労省業務受託収益	881,878	0	881,878
4 雑収益	314,179	473,687	△ 159,508
受取利息	1,661	2,494	△ 833
雑収入	312,518	471,193	△ 158,675
経常収益合計	48,386,791	52,887,151	△ 4,500,360
(2) 経常費用			
1 事業費	30,208,743	37,737,364	△ 7,528,621
人件費	7,400,418	9,284,060	△ 1,883,642
給料手当	6,623,331	8,003,897	△ 1,380,566
福利厚生費	777,087	1,280,163	△ 503,076
会誌発行費	9,073,594	11,343,824	△ 2,270,230
印刷製本費	6,701,438	8,713,503	△ 2,012,065
送達費	1,589,919	1,466,437	123,482
編集費	782,237	1,163,884	△ 381,647
講演会費	5,827,958	7,638,263	△ 1,810,305
旅費交通費	1,084,740	1,626,149	△ 541,409
渉外費	32,700	32,400	300
学会賞等及び授賞選考費	196,530	169,723	26,807
情報関連費	2,006,925	2,050,641	△ 43,716
厚生労働科学研究支出	3,704,000	4,792,304	△ 1,088,304
厚労省業務費	881,878	0	881,878
周年事業積立金繰入	0	800,000	△ 800,000
2 管理費	11,506,072	15,565,150	△ 4,059,078
人件費	2,889,256	3,118,959	△ 229,703
給料手当	2,630,224	2,667,961	△ 37,737
福利厚生費	259,032	450,998	△ 191,966
業務委託費	633,140	402,358	230,782
事務費	4,431,054	5,420,137	△ 989,083
会議費	239,695	238,208	1,487
旅費交通費	683,964	1,014,645	△ 330,681
諸印刷費	807,194	941,900	△ 134,706
通信運搬費	1,568,954	1,576,908	△ 7,954
消耗品費	338,705	536,367	△ 197,662
支払手数料	378,420	79,070	299,350
雑費	414,122	1,033,039	△ 618,917
事務所費	3,152,622	3,123,696	28,926
賃借料	1,761,942	1,745,772	16,170
共益費	1,390,680	1,377,924	12,756
退職給付費用	400,000	3,500,000	△ 3,100,000
経常費用合計	41,714,815	53,302,514	△ 11,587,699
当期経常増減額	6,671,976	△ 415,363	7,087,339
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用合計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,671,976	△ 415,363	7,087,339
一般正味財産期首残高	25,567,444	25,982,807	△ 415,363
一般正味財産期末残高	32,239,420	25,567,444	6,671,976
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	32,239,420	25,567,444	6,671,976

正味財産増減計算書内訳表(案)

平成31年 4月 1日から令和2年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益							1,000	1,000
基本財産受取利息							1,000	1,000
受取会費					15,645,000	15,645,000	15,645,000	31,290,000
正会員会費収入					5,700,000	5,700,000	5,700,000	11,400,000
学生会員会費収入					36,000	36,000	36,000	72,000
購読会員会費収入					4,644,000	4,644,000	4,644,000	9,288,000
賛助会員会費収入					5,265,000	5,265,000	5,265,000	10,530,000
事業収益	8,284,616	4,192,996	600,000	3,704,000	0	16,781,612	0	16,781,612
講演会収入	7,152,738					7,152,738		7,152,738
広告料収入		2,074,000				2,074,000		2,074,000
会誌売上収入		777,100				777,100		777,100
別刷料収入		1,341,896				1,341,896		1,341,896
助成金収入	250,000		600,000			850,000		850,000
厚生労働科学研究補助金				3,704,000		3,704,000		3,704,000
厚生省業務受託収益	881,878					881,878		881,878
雑収益		250,848				250,848	63,331	314,179
受取利息収入						0	1,661	1,661
雑収入		250,848				250,848	61,670	312,518
経常収益計	8,284,616	4,443,844	600,000	3,704,000	15,645,000	32,677,460	15,709,331	48,386,791
(2) 経常費用								
事業費	10,245,108	13,614,792	605,218	3,704,000	2,039,625	30,208,743		30,208,743
給料手当	2,947,387	3,444,131	231,813			6,623,331		6,623,331
福利厚生費	345,807	404,085	27,195			777,087		777,087
印刷製本費		6,701,438				6,701,438		6,701,438
送達費		1,589,919				1,589,919		1,589,919
編集費		782,237				782,237		782,237
講演会費	5,827,958					5,827,958		5,827,958
学会賞等及び授賞選考費			196,530			196,530		196,530
会議費						0		0
旅費交通費	242,078	692,982	149,680			1,084,740		1,084,740
渉外費					32,700	32,700		32,700
周年事業費						0		0
情報関連費					2,006,925	2,006,925		2,006,925
厚生労働科学支出				3,704,000		3,704,000		3,704,000
厚生労働省業務費	881,878					881,878		881,878
管理費							11,506,072	11,506,072
給料手当							2,630,224	2,630,224
福利厚生費							259,032	259,032
業務委託費							633,140	633,140
会議費							239,695	239,695
旅費交通費							683,964	683,964
諸印刷費							807,194	807,194
通信運搬費							1,568,954	1,568,954
消耗品費							338,705	338,705
支払手数料							378,420	378,420
雑費							414,122	414,122
賃借料							1,761,942	1,761,942
共益費							1,390,680	1,390,680
退職給付費用							400,000	400,000
経常費用計	10,245,108	13,614,792	605,218	3,704,000	2,039,625	30,208,743	11,506,072	41,714,815
当期経常増減額	△ 1,960,492	△ 9,170,948	△ 5,218	0	13,605,375	2,468,717	4,203,259	6,671,976
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計							0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計							0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	1,960,492	9,170,948	5,218	0	△ 13,605,375	△ 2,468,717	2,468,717	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	6,671,976	6,671,976
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	25,567,444	25,567,444
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	32,239,420	32,239,420

財務諸表に対する注記(案)

1. 継続事業の前提に関する注記
継続事業の前提に疑義はございません。

2. 重要な会計方針
(1) 引当金の計上基準
退職給付引当金…期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
周年事業積立金…60周年事業のための積立金に相当する金額を計上している。

(2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更
該当する事項はございません。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	14,500,306	400,000	3,468,400	11,431,906
周年事業積立資産	2,900,000	0	0	2,900,000
小計	17,400,306	400,000	3,468,400	14,331,906
合計	27,400,306	400,000	3,468,400	24,331,906

5. 基本財産及び特定財産の財源等の内訳

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	10,000,000	0
小計	10,000,000	0	10,000,000	0
特定資産				
退職給付引当資産	11,431,906	0	0	11,431,906
周年事業積立資産	2,900,000	0	0	2,900,000
小計	14,331,906	0	0	14,331,906
合計	24,331,906	0	10,000,000	14,331,906

6. 担保に供している資産
該当する事項はございません。

7. 保証債務
該当する事項はございません。

8. 関連当事者との取引の内容
該当する事項はございません。

9. 重要な後発事象
該当する事項はございません。

附属明細書(案)

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載しております。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	14,500,306	400,000	3,468,400		11,431,906
周年事業積立資産	2,900,000				2,900,000
合計	17,400,306	400,000	3,468,400	0	14,331,906

財産目録(案)

令和2年3月31日現在

単位:円

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	334,319
	預金	普通預金		
		みずほ銀行	運転資金として	26,558,666
		三菱UFJ銀行	運転資金として	47,805
		三菱UFJ信託銀行(基本金口)	運転資金として	93,734
		三菱UFJ信託銀行(余裕金口)	運転資金として	36,002
		三井住友信託銀行	運転資金として	82,621
		みずほ銀行厚生労働省	運転資金として	1,296,000
		郵便振替貯金		
		ゆうちょ銀行	運転資金として	1,588,053
		定期預金		
		みずほ銀行	運転資金として	10,000,000
	未収金	会員に対するもの	当年度会費	1,731,571
	前払金	日本橋公会堂他	翌事業年度実施事業費	68,808
流動資産合計				41,837,579
(固定資産)				
基本財産	定期預金(基本金)	定期預金	公益目的保有財産	
		三菱UFJ信託銀行(基本金)		10,000,000
特定資産	退職給付引当資産	定期預金	職員退職給付引当金見合いの引当金資産	11,431,906
		三井住友信託銀行		
	周年事業積立資産	定期預金	60周年事業引当金見合いの積立資産	2,900,000
		三菱UFJ銀行		
その他固定資産	電話加入権	NTT固定電話加入権	共有財産	4,200
	保証金	(公社)日本食品衛生協会	共有財産	667,000
固定資産合計				25,003,106
資産合計				66,840,685
(流動負債)				
	未払金	キャノンほか	当事業年度の管理費	252,498
	前受金	正会員	翌事業年度の会費入金分	5,716,800
		学生会員	翌事業年度の会費入金分	24,000
		購読会員	翌事業年度の会費入金分	3,360,000
		賛助会員	翌事業年度の会費入金分	8,667,000
		会誌売上先	規格基準抄入金分	261,000
	預り金	厚生労働省ほか	厚生労働科学研究補助金精算金、助成金他	1,988,061
流動負債合計				20,269,359
(固定負債)				
	退職給付引当金	職金に対するもの	職員の退職給付金の引当金	11,431,906
	周年事業積立金		60周年事業引当金	2,900,000
流動負債合計				14,331,906
負債合計				34,601,265
正味財産				32,239,420

令和 2 年 4 月 10 日

公益社団法人 日本食品衛生学会
会 長 永 山 敏 廣 殿

公益社団法人 日本食品衛生学会

監事 杉本 敏明 

監事 山崎 壮 

監 査 報 告 書

私たち監事は平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日までの公益社団法人日本食品衛生学会の事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び事務局員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び事務局員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減明細書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告及びその附属明細書の監査結果

- 一 事業報告及び附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

令和2年度事業計画書

(3月10日理事会で承認されたものです。)

[1] 学術講演会・研究会および講習会等の開催事業（公益目的事業1）

1. 学術講演会の開催

- ・第116回日本食品衛生学会学術講演会を下記のとおり行う。

開催日 令和2年9月3日、4日

場 所 長崎大学（長崎市）

参加予定者数 約600名

2. 特別シンポジウムの開催

- ・第23回特別シンポジウムを行う。

[テーマ：未定]

開催日 未定

場 所 未定

- ・ブロックイベントを行う予定。

各6ブロックで開催予定。

[テーマ：未定]

開催日 未定

場 所 未定

3. 公開講演会

- ・創立60周年記念公開講演会を行う

開催日 令和2年6月15日

場 所 日本橋公会堂ホール（東京都中央区）

内 容 日本の食文化と発酵」（仮） 小泉武夫（東京農大）

4. 関連学（協）会との連携および協力

- ・日本食品衛生学会・日本食品微生物学会・日本食品化学学会主催

「ifia JAPAN 2020 食の安全・科学フォーラム 第19回セミナー&国際シンポジウム」

を下記のとおり行う。

開催日 令和2年4月22日

場 所 東京ビッグサイト 青海展示会場内

内 容

第一部 食品の輸出入に伴う規格基準と国際整合性

第二部 穀物の衛生管理

- ・関連学会等との共催、協賛および後援を行う

〔2〕学会誌等の発行（公益目的事業2）

- ・学会誌等を下記のとおり発行する。

食品衛生学雑誌（6冊）	第61巻2号～6号	発行部数	2,050部
	第62巻1号	発行部数	2,150部
食品・食品添加物等規格基準（抄）		発行部数	1,000部
第116回学術講演会要旨集		発行部数	1,000部

〔3〕研究業績に対する表彰事業（公益目的事業3）

- ・令和2年度日本食品衛生学会賞等授賞式を第116回学術講演会において下記のとおり行う。

「学会賞受賞者」

穂山 浩（国立医薬品食品衛生研究所）「食品表示と自然毒等のレギュラトリーサイエンス研究」

一色賢司（一般財団法人 日本食品分析センター）「微生物制御とその関連技術の開発に関する研究」

「学術貢献賞受賞者」

林谷秀樹（東京農工大学大学院）「食品における病原性エルシニア菌の生態の解明と高感度迅速検出法の開発」

- ・食品衛生学雑誌第60巻論文賞授賞式を第116回学術講演会において下記のとおり行う。

「ストロンチウム抽出カラムを用いた緊急時に適用可能な食品中のストロンチウム 90 (Sr-90) 迅速分析法の確立 <報文>」第60巻第2号 p. 7～15 鍋師裕美* 堤 智昭 松田りえ子 蜂須賀暁子 穂山 浩 国立医薬品食品衛生研究所

「東京都で流通する食肉から分離された大腸菌の薬剤耐性 <報文>」 第60巻第3号 p. 45～51 西野由香里* 下島優香子 森田加奈 井田美樹 福井理恵 黒田寿美代 平井昭彦 新藤哲也 貞升健志 東京都健康安全研究センター

「LC/Tribrid Orbitrap による強壮系健康食品中の Phosphodiesterase-5 阻害薬および構造類似体の分析 <報文>」 第60巻第4号 p. 96～107 坂本美穂*¹ 蓑輪佳子¹ 岸本清子¹ 中嶋順一¹ 鈴木 仁¹ 守安貴子¹ 深谷晴彦² 斉藤貢一³ ¹ 東京都健康安全研究センター ² 東京薬科大学 ³ 星薬科大学

〔4〕若手研究者育成事業（公益目的事業4）

- ・令和2年度厚生労働科学研究（食品の安全確保推進研究事業）の若手研究者育成事業の公募に応募し採用された場合、補助事業者として若手研究者を採用する。

〔5〕 その他

- ・ 会員の相互扶助事業については令和2年度から事業を開始し、下記の内容で実施する。

1. 会員限定「学術小集会：FHS コミュニティ」
年数回の開催を目標とする。
2. 会員限定のメルマガを配信する。
3. 論文作成に関する相談会を開催する。

- ・ 創立60周年記念事業

1. 記念式典 令和2年6月15日 15:00～ 日本橋公会堂
2. 祝賀会 令和2年6月15日 17:30 三笠会館
3. 功労賞10名、感謝状28社を表彰する。
4. 食品衛生学雑誌記念号

- ・ 感謝状の贈呈

会員歴20年 年齢80歳以上 令和2年4月1日現在の対象者下記に感謝状を贈呈する。
正会員 篠田澄男

〔6〕 総会・理事会の開催予定

- ・ 令和2年度総会を下記のとおり行う。

開催日 令和2年6月15日（予定）
場 所 日本橋公会堂（東京都中央区）
議 案 令和元年度事業報告および同決算報告

- ・ 4月、5月、10月、2月に理事会を行う。

収支予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度予算	前年度予算	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,000	1,000	0
基本財産受取利息	1,000	1,000	0
受取会費	30,140,000	30,806,000	△ 666,000
正会員会費収入	11,021,000	11,045,000	△ 24,000
学生会員会費収入	72,000	123,000	△ 51,000
購読会員会費収入	8,760,000	9,216,000	△ 456,000
賛助会員会費収入	10,287,000	10,422,000	△ 135,000
事業収益	12,450,000	12,750,000	△ 300,000
講演会参加費収入	8,000,000	8,100,000	△ 100,000
広告料金収入	1,820,000	2,250,000	△ 430,000
会誌売上金収入	1,230,000	1,000,000	230,000
別刷料金収入	1,200,000	1,200,000	0
会員集会収入	200,000	200,000	0
受取補助金	5,000,000	5,000,000	0
厚生労働科学研究補助金	5,000,000	5,000,000	0
受取助成金	600,000	850,000	△ 250,000
助成金収入	600,000	850,000	△ 250,000
雑収益	302,000	452,400	△ 150,400
受取利息	2,000	2,400	△ 400
雑収益	300,000	450,000	△ 150,000
経常収益計	48,493,000	49,859,400	△ 1,366,400
(2) 経常費用			
事業費	39,142,160	37,543,260	1,598,900
給料手当	6,882,260	7,592,200	△ 709,940
福利厚生費	577,500	968,660	△ 391,160
印刷製本費	8,000,000	9,450,000	△ 1,450,000
送達費	1,600,000	1,500,000	100,000
編集費	1,050,000	1,100,000	△ 50,000
講演会費	8,450,000	7,300,000	1,150,000
学会賞等及び授賞選考賞	450,000	250,000	200,000
会員集会費	200,000	200,000	0
旅費交通費	1,950,000	1,550,000	400,000
渉外費	32,400	32,400	0
周年事業費	2,900,000	500,000	2,400,000
情報関連費	2,050,000	2,100,000	△ 50,000
厚生労働科学研究支出	5,000,000	5,000,000	0
管理費	11,419,788	11,940,836	△ 521,048
給料手当	2,055,740	2,267,800	△ 212,060
福利厚生費	172,500	289,340	△ 116,840
退職給付費用	350,000	330,000	20,000
業務委託費	500,000	600,000	△ 100,000
会議費	400,000	400,000	0
旅費交通費	1,100,000	1,000,000	100,000
諸印刷費	900,000	1,000,000	△ 100,000
通信運搬費	1,550,000	1,550,000	0
消耗品費	450,000	500,000	△ 50,000
郵便振替手数料	260,000	80,000	180,000
賃借料	1,778,112	1,745,772	32,340
共益費	1,403,436	1,377,924	25,512
雑費	500,000	800,000	△ 300,000
経常費用計	50,561,948	49,484,096	1,077,852
当期経常増減額	△ 2,068,948	375,304	△ 2,444,252
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
周年事業積立金戻入	2,900,000		2,900,000
経常外収益計	2,900,000	0	2,900,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	2,900,000	0	2,900,000
他会計振替額			

収支予算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計						収益事業等会計		法人会計	合計
	講演会事業	会誌発行等 事業	顕彰事業	若手研究者 育成事業	共通	小計	収益事業	その他の事業		
								会員の相互扶 助事業		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益										
基本財産受取利息									1,000	1,000
受取会費										
正会員会費収入					5,510,500	5,510,500			5,510,500	11,021,000
学生会員会費収入					36,000	36,000			36,000	72,000
購読会員会費収入					4,380,000	4,380,000			4,380,000	8,760,000
賛助会員会費収入					5,143,500	5,143,500			5,143,500	10,287,000
事業収益										
講演会参加費収入	8,000,000					8,000,000				8,000,000
広告料金収入		1,820,000				1,820,000				1,820,000
会誌売上金収入		1,230,000				1,230,000				1,230,000
別刷料金収入		1,200,000				1,200,000				1,200,000
会員集会収入							200,000		200,000	200,000
受取補助金						5,000,000				5,000,000
厚生労働科学研究補助金				5,000,000		5,000,000				5,000,000
受取助成金										
助成金収入			600,000			600,000				600,000
雑収益										
受取利息					2,000	2,000				2,000
雑収益					300,000	300,000				300,000
経常収益計	8,000,000	4,250,000	600,000	5,000,000	15,372,000	33,222,000		200,000	15,071,000	48,493,000
(2) 経常費用										
事業費										
給料手当	2,994,230	3,396,440	312,830			6,703,500		178,760		6,882,260
福利厚生費	251,250	285,000	26,250			562,500		15,000		577,500
印刷製本費		8,000,000				8,000,000				8,000,000
送達費		1,600,000				1,600,000				1,600,000
編集費		1,050,000				1,050,000				1,050,000
講演会費	8,450,000					8,450,000				8,450,000
学会賞等及び授賞選考賞			450,000			450,000				450,000
会員集会費							200,000		200,000	200,000
会議費						0				0
旅費交通費	1,150,000	650,000	150,000			1,950,000				1,950,000
渉外費					32,400	32,400				32,400
周年事業費					2,900,000	2,900,000				2,900,000
情報関連費					2,050,000	2,050,000				2,050,000
厚生労働科学研究支出				5,000,000		5,000,000				5,000,000
管理費										
給料手当								2,055,740		2,055,740
福利厚生費								172,500		172,500
退職給付費用								350,000		350,000
業務委託費								500,000		500,000
会議費								400,000		400,000
旅費交通費								1,100,000		1,100,000
諸印刷費								900,000		900,000
通信運搬費								1,550,000		1,550,000
消耗品費								450,000		450,000
支払手教科								260,000		260,000
賃借料								1,778,112		1,778,112
共益費								1,403,436		1,403,436
雑費								500,000		500,000
経常費用計	12,845,480	14,981,440	939,080	5,000,000	4,982,400	38,748,400		393,760	11,419,788	50,561,948
当期経常増減額	△ 4,845,480	△ 10,731,440	△ 339,080	0	10,389,600	△ 5,526,400		△ 193,760	3,651,212	△ 2,068,948
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計					2,900,000	2,900,000				2,900,000
(2) 経常外費用										
経常外費用計										
当期経常外増減額	0	0	0	0	2,900,000	2,900,000			0	2,900,000
他会計振替額								193,760	△ 193,760	